

第12号

発行者 社会福祉法人養和会 東京都八丈島八丈町大賀郷 7670-1
tel 04996-2-0770 fax 04996-2-0432

経営改革を進めます

理事長 沖山 芳清

今年4月、「もしドラ」―「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの《マネジメント》を読んだら」がNHKでアニメドラマ化され、6月には映画にもなりました。発売以来250万部を売り上げているベストセラーです。

マネジメントの父と言われるドラッカーは、なぜ注目を集め続けるのでしょうか。

現代社会は、社会生活においても、プライベートにおいても、テレビや携帯電話、パソコンなど極度の情報化、個人化が進み、社会環境も変容しています。

そうした中で、会社や団体などの組織には、時代にマッチした組織運営が求められ、あらためてドラッカーの《マネジメント》論が注目されることになったと言えるでしょう。

社会福祉法人養和会は昭和42年に設立され、八丈町をはじめ青ヶ島、小笠原村の高齢者施設サービスの手として、主要な役割を果たしてきました。

平成12年には介護保険制度がスタート、社会福祉法の改正などにより、法人には新たな時代への《マネジメント》の転換が求められています。

しかしながら、八丈町において独占的ともいえる運営をしてきた養和会は、既存の「しくみ」から脱皮できず、経営責任者である役員と現場の間に、重要な情報が共有されないなど、経営判断や組織運営も形骸化したものになりがちでした。

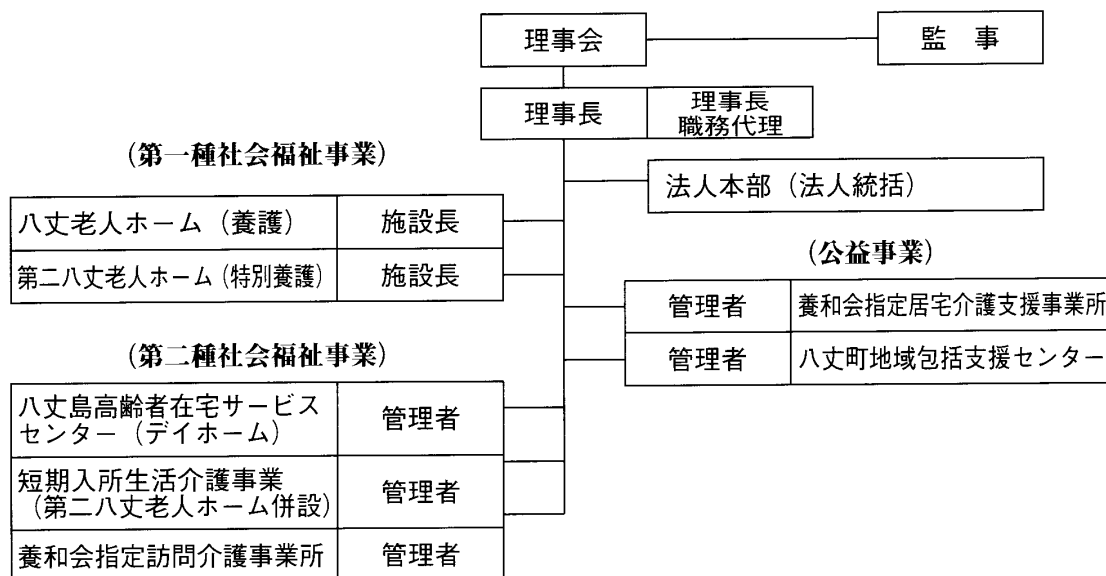
こうした反省から、養和会が築いた伝統を生かしつつ、総力をあげて組織体質の改善に取り組むことにいたしました。

まず、理事長をはじめとする法人役員の役割・責任体制の明確化を図るため、本年4月定款を見直し、理事定数を10名から6名に減員、評議員会は廃止いたしました。理事の選任については、責任を果しうる専門性を重視したものとし、意思決定機関としての理事会の適正運営と活性化を目指します。

このことにより、「迅速な経営判断」・「正確で信頼される経営判断」が可能になり効率的組織運営が図られると考えています。

養和会が時代の要請をしっかりと受け止めながら、社会情勢が著しく変化する中で取り残されないため、理事長の責務を果たしていく所存です。

社会福祉法人養和会の組織



養和会の理事・監事

理 事	沖 山 芳 清 (理事長)
	伊 藤 康 江 (理事長職務代理)
	星 野 達 夫 (理事長職務代理)
	笹 本 義 忠 (理事長職務代理)
	沖 山 智 徳
	田 代 典 夫
監 事	内 山 江 差 夫
	丸 山 信 男

☆ケアケア交流講座のお知らせ☆

良く座る！シーティング技術 ～でーじけ「座り方」教えます！～

日 時 : 7月22日(金) 13時～15時
 場 所 : 第二八丈老人ホーム 二階会議室
 講 師 : 日本医療科学大学保健医療学部リハビリテーション学科
 作業療法学専攻長・教授 木之瀬隆先生
 講義の内容 : 今回のケアケア交流講座では、
 シーティング(車椅子座位姿勢をうまく調整する技術)
 について、床ずれ予防や身体拘束の予防に焦点を当て、
 講義をして頂く予定です。

木之瀬先生の講義は大変人気
 があり、理学療法士や作業療
 法士の中でも講義を受けたく
 ても、受けられないことが多
 いと言われています。介護や
 医療に関わる方、また今後関
 わる可能性のある方はこの機
 会に是非ご参加下さい。

東京都共同募金会事業完了のご報告

東京都共同募金整備事業として、第二八丈老人ホームに対し、身体障害者輸送車の更新費用として412万円の配分を頂き、一月に新車（総額約780万円）を購入しました。

身体障害者輸送車は利用者の病院受診時の搬送やドライブ等に使用させて頂きます。車イス利用者4名、一般の利用者12名を乗車できる大型の車輛で、利用者は勿論のこと職員も気分よく毎日使用させて頂いています。

安全運転に努めるとともに、共同募金の精神を受けて大切に使用してまいります。東京都共同募金会に厚く感謝申し上げます。整備事業完了のご報告といたします。



☆「介護予防」・「美」・「スポーツ技能向上」の技術 伝えます！！☆

～養和会介護士・理学療法士が伝える「介護予防」「美」「スポーツ技能向上」に関する講習会～

養和会が主催で、下記のような講習会を今年8～9月頃に実施を予定しております。

詳細は養和会ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~yowakai/>に掲載されておりますので興味のある方はご覧下さい。※お問い合わせがある方は担当 機能訓練 伊勢崎が不在な場合も多いため、メール（yowakai8@gmail.com）でお願い致します。

- 「美脚・美背中！美しい姿勢になるための方法～介護予防・スポーツにもつながる姿勢！」
理学療法士 伊原恵美子
- 「まだまだ元気！な時から知っておく介護予防に関する知識と実践！
～いつまでも歩いてトイレに行くための体のチェック方法！」
介護士 村松宜則・山下賢治・他 理学療法士 伊原恵美子・伊勢崎嘉則
- 「中学生・高校生におけるスポーツ技能を飛躍的に向上させるトレーニングのコツ
～部活・記録会に生かす 走動作！」
理学療法士 伊勢崎嘉則

夏まつりのお知らせ

今年も、8月9日（火）に夏まつりを開催します。

昨年同様、檜会や連合婦人会、檜立踊り保存会など多くの方に参加を願います。賑やかで楽しい祭りになりたいと思っています。

また、多数の模擬店の出店も予定しています。是非お越し下さい。

ボランティア募集について

内容は：お話相手・散歩の付添・洗濯たたみ・清掃・読み聞かせ・運動、その他なんでもあります。

一度ホームを見学してみませんか？

お願い（食中毒の予防）

当ホームの給食は、6月から9月の4ヶ月間、刺身などの生モノを避けています。

利用者のご家族の皆様には、特にこの期間、食中毒の原因となりやすい食品の差し入れを止めて頂くよう、お願い申し上げます。

平成22年度第三者評価について

一、八丈老人ホーム

○特に良いと思われる点

①地域の専門機関としての重要な役割を担っています。

八丈島唯一の総合福祉施設として地域での重要な役割を果たしています。地域ケア会議として医師、民生委員、保健所、消防署、町健康課、病院看護師、社協、他の福祉施設、当職員約30名近い出席者で二ヶ月に一回、福祉全般、防災、防犯（警察署出席）について話し合いが行われており、地域の一員としての社会的責任を果たしている意味から大変評価されると思われます。またケアケア交流講座として各種の介護健康講座を地域ケア会議と交互に二ヶ月に一回、他の在宅介護所職員と、利用者家族、当施設職員に対して行い、当職員が講師で協力しています。

②地産の食材を生かした島の郷土料理は利用者の楽しみとなっています。

馴染みのある麦雑炊等の島の郷土料理は利用者の楽しみとなっています。その他、地産のオクラやゴーヤ、スイカ等、新鮮な野菜や漁協からの新鮮な魚を出来る限り献立に生かしています。嚙下機能の低下した利用者も誤嚥の危険なく安全に摂取してもらうため併設の特養老人ホームで研究開発したソフト食を取り入れています。このソフト食は地元の新鮮な魚を活かしているため、臭みもなく美味しい物となっています。特に、手まり寿

司のソフト食は本物と見間違ふほど見た目もおおいしく仕上がっていて人気の一品です。

③毎日の体操、広い庭園の散歩、転倒防止用語の掲示により転倒予防に努めています。

毎朝、ラジオ体操、ホーム独自の養護体操、広い庭園の散歩を行なっています。散歩のとき車椅子利用者は職員が介護して、雨の日は併設施設内も含め広い施設内を一周しています。廊下や居室には習字の先生役の利用者が書いた転倒防止用語を貼り、利用者の転倒予防への意識を促しています。古い構造の施設のため段差がありますが、部屋の中はフローリングにする等の改修も行い、転倒防止に努めています。

○さらなる改善が望まれる点

①倫理規定や法令遵守の周知が必要と思われます。

倫理や法令順守については就業規則や事業計画書で詠っていますが研修会等は開かれていません。新人社員には口頭で説明していますが、現任職員への研修が必要と思われます。守るべき倫理や法令順守として福祉サービスでは利用者に対する不適切な対応をしないことも含まれています。利用者調査で職員の不適切な発言があるとの利用者の声もあるので職員に対する倫理や法令順守の研修等が必要と思われます。また倫理規定等をはつきりと明示した文書や掲示物等で職員への周知徹底も再度必要かと思われれます。

ありがとうございました

当養和会は多くの皆様から、現金、野菜、花、その他施設に有用な物品などの寄付をいただきました。

左記にご氏名を掲載し、ご考志に厚く感謝申し上げます（昨年10月から本年3月まで、順不同、敬称を略させていただきます）。

明林康子

菊池弘邦

柏淵美津枝

佐藤良子

船橋光

鬼形和子

奥山セツ子

松岡一里

浅沼彥

菊池実

須藤勇嗣

高安医科

浅沼博

金川利夫

樹海荘

養護利用者

浅沼聖也

西條シメ香

赤松保吉

田代常雄

伊藤康江

金田雅年

石田光春商店

橋場晶子

磯崎光彌

笹本久美代

田村忠宏

榎アルボース

浅沼仁吉

菊池スミ

七島信用組合

若澤洋

伊奈京子

商工会青年部

小沢三井

内藤保

沖山雍子

丸山秀美

大澤玉政

田代至

岩淵一也

田中忍

春上寿昭

土方勇

奥山武

後藤鶴子

②年度事業計画の推進方法に検討が求められます。

年度事業計画は作成されていますが、職員への説明や職員の事業計画への参加意識が低いようです。職員の声として事業の目標が分からないとか事業計画書を見ていないなどの声があります。年度の事業計画作成、運用、確認方法などをいろいろと検討して、たとえば職員参加型で基本方針達成の為に職員が検討した行動計画（何を、何時まで、誰が）を積み上げ方式で考えていくなど、事業計画の経営層と職員の一体的な作成、運用が求められていると思われます。

③施設の建築・設備の老朽化が著しく、機能的にも改築計画の作成が求められます。

養護部分は築43年経過した平屋・コンクリート建てで、10㎡の二人居室が20室、5㎡の個室が10室あります。二人居室はあまりに狭くプライバシーを守ることは不可能な状況です。また廊下・トイレも古くて狭く、空調ダクトが廊下にむき出し状態で、利用者本位のサービス提供が物理的にできない施設環境です。一刻も早く施設の改修計画を策定する時期となっています。その際、入居者80%が既に要介護・要支援であることから、養護から特養への転換も含めて考慮し、行政との協議・支援相談も併せて行うことが期待されます。

一、第二八丈老人ホーム

○特に良いと思われる点

①地域の専門機関としての重要な役割を担っています。

八丈老人ホームに同じ。

②リハビリによる自立援助の方針のもと、個別の機能訓練に成果をあげています。

「日常生活そのものがリハビリテーションであり、老化防止対策である」との自立援助方針のもと、理学療法士が常勤で勤務し更に定時に作業療法士と言語聴覚士が来所し、介護職員との協働で、利用者一人ひとりの身の回りの生活動作等を詳細に把握分析し個別目標を設定しています。また、療法士から職員に講義や実技の指導が行なわれその力量を高めています。例えば足に浮腫のある利用者に対して、浮腫がだんだん和らぐような物理療法を実施しています。介護度5から介護度2まで改善された成功例があり高く評価できる内容です。

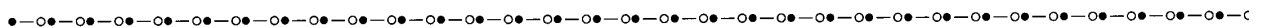
③食欲のない利用者や誤嚥しやすい利用者にとフト食を提供しています。

常葉が食べられない利用者に対し、見た目はそのまま（魚は魚の形）で食感を柔らかくし、誤嚥防止に繋がるソフト食の取り組みをしています。彩りも良く、視覚から食欲をそそる効果もあります。利用者の約6割の方々が、「ソフト食を食べています。利用者の嗜好調査から「島寿司」が食べたいという要望に応え、ゼラチンご飯を使ったソフト食の手まり寿司は、利用者から好評でした。食事は、生活の中でも楽しみの一つです。山の幸や海の幸に恵まれ、新鮮な食材を使えるのは島ならではの長所と思われれます。

○さらなる改善が望まれる点

①倫理規定や法蓮遵守の周知が必要と思われる点。

八丈老人ホームに同じ。



- | | |
|--------|-------|
| 奥山隆久 | 中山光男 |
| 大石美和子 | 中村商店 |
| 清水はる子 | 平岡 |
| 奥山元之 | 芝野雅一 |
| 奥山利平 | 船橋一市 |
| 大沢一勝 | 羽田写真館 |
| 伊藤峯代 | 宮沢昭一 |
| 金尾玄洋 | 高橋雄一 |
| 菊地肇 | 宮地文子 |
| 大山孝彦 | 山隈幸代美 |
| 山崎静子 | 森香 |
| 菊池政子 | 藤巻商店 |
| 笹本長利 | 盲目平次郎 |
| 奥山文章 | 吉田正宗 |
| 佐々木アツ子 | 吉崎雅子 |

- 八丈島警察署内ほうべい園
- 八丈島ライオンズクラブ
- 日本絵手紙協会
- ジェットエンタープライズ
- 大賀郷菌科クリニック 菊池一江
- 八丈島空港ターミナルビル（株）
- 空港ビューティーサロン
- 産業祭実行委員会
- NTT労働東京総支部
- 長光徹弥（有）ハッピーおがわ
- 八丈ナーセリー 山下忠宏

○お願い○

ホームでは布が不足しています。使用済みのシーツやタオルがありましたら寄附をお願いします。また、布を切っていたら、ボランティアを募集しています。よろしくお願ひします。

②年度事業計画の推進方法に検討が求められます。

八丈老人ホームに同じ。

③身の回りの「整理・整頓・清潔・清掃」で、生活環境のさらなる改善が望まれます。

洗面所やトイレが衛生的とはいいがたい状態です。洗面所には、利用者が使用するコップをしまう棚がありますが、棚にはしまわないで、無造作に置いてあります。トイレの掃除は毎日必要と思われませんが、1日おきに行われています。生活環境を衛生的にしておくことは、感染症予防にも繋がります。また利用者の居室の空気の入れ替えや室温を適正に保つことも大事です。身の周りの整理・整頓・清潔・清掃に配慮して、利用者の生活環境のさらなる改善が望まれます。

三、八丈島高齢者在宅サービスセンター（デイサービス）

○特に良いと思われる点

①地域の専門機関としての重要な役割を担っています。

八丈老人ホームに同じ。

②八丈島独自のアクティビティを日中活動に取り入れています。

八丈島には江戸時代から伝わる八丈太鼓を事業開始当初から利用者のプログラムに取り入れています。月2回、太鼓の先生と一緒に全員で太鼓を鳴らしています。八丈太鼓は、島では観光名物に

なっているくらい島民には古くから伝わる馴染みのものなので、利用者が日常生活を楽しく過ごすための手段として最適なアクティビティと思われると思います。また日本の太鼓は今、教育、療育、セラピーリハビリテーション等の分野でも注目を浴び、取り入れられ始めています。高齢者の生きがいくくりや、機能回復訓練として八丈太鼓のアクティビティは評価できると思われれます。

③「食」に対して、地産食材を活用した自然豊かな食事観がうかがえます。

牛乳、卵、芋類は10割、魚類は6割、八丈島産を使用しています。利用者の皆さんの顔艶が良く若々しさを感じたことには、地産地消で健康を維持する、スローフードやフードマイレージを最小に、といった正しい自然食を大事にするクロピオチック観が窺えます。また常菜が食べられない利用者に対し、見た目はそのまま（魚は魚の形）で食感を柔らかくし、誤嚥防止に繋がるソフト食の取り組みをしています。彩りも良く、視覚から食欲をそそる効果もあり、食事を楽しみに行っている利用者ニーズに添えています。

○さらなる改善が望まれる点

①職員の意識改革のために、旧い言葉や用語の呼称の改正が望まれます。

八丈島高齢者在宅サービスセンターの「年度事業計画書」には、措置時代の旧い用語が見受けられます。一般の通所介護をデイホームB型と呼称し、地域密着型サービスの認知症対応通所介護は認知症高齢者デイホームE型と呼称されています。他にも、特養の第二老人ホームでは介護職を

寮母、そのヘルパーステーションを寮母室と言っています。また、サービス提供を「処遇する」としています。大きな改革も第一歩からであり、意識改革のために、新しい呼称変更が望ましいと考えます。

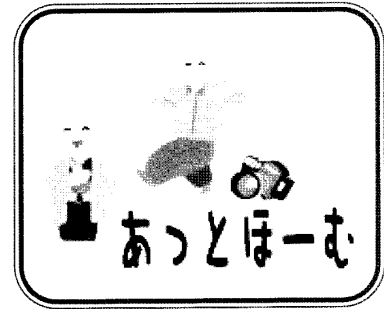
②施設長の管理範囲の適正化を図り、その役割と責任の明確化が望まれます。

現状では一人施設長が特養、養護、通所の3事業所及び訪問介護や居宅介護支援事業所等在宅系サービスの長をも兼務しています。補佐する各事業所別の副施設長はいません。職務分掌も理事長、施設長については書かれていますが、主任クラスがはっきりしません。施設長の管理範囲の適正化を図り、施設長の経営責任と役割を明確にした職務権限の整備が急がれます。経営層の改革意欲とリーダーシップの発揮が期待されます。

③苦情等への対応にさらなる改善が望まれます。

21年度の事業報告書では、年間32件の苦情処理報告がされています。転倒・ケガの発生や職員への対応誤りへの苦情です。中には職員から暴言を浴びた利用者が家族に通報し家族から施設へ苦情が寄せられた末、担当者と上司と施設長が家族に謝罪した事例が含まれていますが、そのことは報告書では分かりません。訪問調査で判明しました。再発防止のための委員会などの組織的な対策検討はされていません。入浴やデイの玄関送迎などの職員の対応誤りを正すには、そのマニュアル化と研修が切に望まれます。

〈フリーシア畑ドライブ〉
3月27日 特別養護老人ホームでは、フリーシア畑にドライブに行ってきました。天気も良くフリーシアの花束も頂き八丈の春を楽しみました。

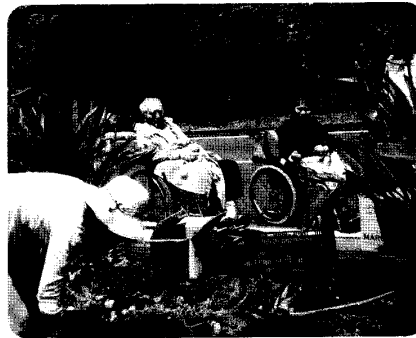


〈防災訓練〉
3月23日 八丈町消防本部の協力の下防災訓練を実施しました。東日本大震災の直後でもあり、利用者職員ともにいつもにまして真剣に取り組んでいました。



〈養護の遠足〉

5月27日 養護老人ホームでは、えこ・あぐりまーとに出かけ、押し花づくりや、スターフルーツなど珍しい果物を食べたりと、楽しいひと時を過ごしてきました。



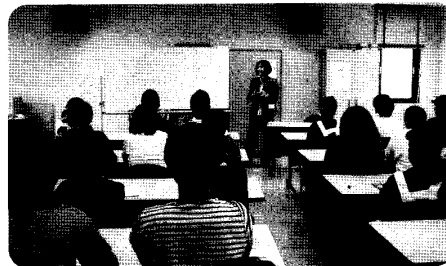
〈じゃがいもの収穫〉
6月11日 利用者職員が作ったじゃがいもの収穫を行いました。大きなじゃがいもの出来に利用者より合格点をいただきました。又、大勝組さんからたくさんのじゃがいもを頂き、さっそくおやつに「茹でじゃが」をいただきました。



〈八高園芸科寄贈の野菜〉

6月8日 5月に八高園芸科よりキュウリとナスの苗をたくさんいただきました。こんなに大きくなり、収穫しています。

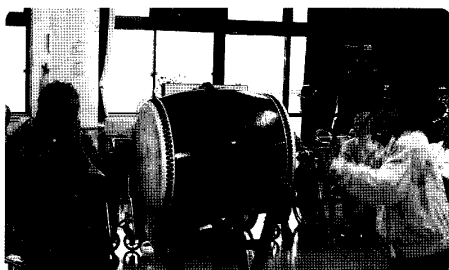
〈ひのき会〉
5月21日 ひのき会の踊りを利用者一同大変楽しみにしています。かわいらしい踊りや品のある踊りにうっとりしていました。



〈養和会職員研修〉
5月17・18日 オフィス紗屋油田まり子先生を講師に迎え「ビジネス・一般常識・応対マナー」研修を4回に亘り実施し職員127名が受講しました。施設内に明るい笑顔がはじけています。

デイサービス通所者募集中（一般デイ・認知症デイ・自立デイ）

明るく楽しく元気良く活動しています。見学随時受け付けています。（電話 2-0770）

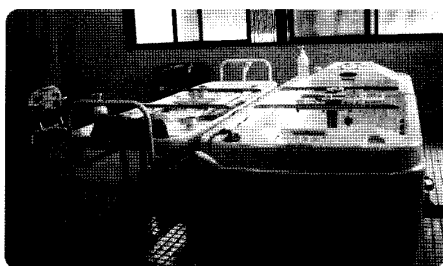


クラブ活動

島ならではのクラブ活動である太鼓はご利用者さまに大人気です。太鼓の名手の方がボランティアで毎月来所し盛り上げてくださいます。その他にも書道やレク体操など様々なプログラムをご用意して皆様をお待ちしています。

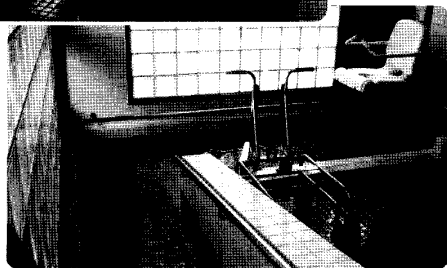
理学療法士によるリハビリ

病院のリハビリを終了した方でも介護保険の認定を受けている方であれば継続的にリハビリが出来ます。また、高齢者の方が体力作りのためのリハビリなどを行うことが出来ます。低周波、自転車エルゴメーター、メドマーなどの機器もご利用いただけます。



大好評！足ケア

足浴後に足のマッサージなどの足ケアに取り組んでいます。末梢の血流を改善することで様々な効果が得られるため、冷え症の方や膝痛のある方などに喜ばれています。健康は足元から！



入浴サービス 介助浴・リフト浴

自宅での入浴が難しくなったり歩行での入浴が出来ない方の為の一部介助と、リフト(イス)を利用した入浴をしていただいています。

機械浴

立位や歩行が出来ない方の為に横になったまま入浴できる浴槽を利用して入浴していただいています。



非常勤職員募集

非常勤看護師	資格 看護師・準看護師	(夜勤なし・勤務日数・時間相談に応じます)
ヘルパー	資格 2級ヘルパー以上	(夜勤なし・勤務日数・時間相談に応じます)
調理員	11月より採用	無資格でも可